

# ‘シャインマスカット’の本整形時の花穂長と摘粒時期

## 1 情報・成果の内容

### (1) 背景・目的

‘シャインマスカット’は県内では2008年頃から導入が進められ、本県でも基礎的な栽培技術の検討を行っている。今回は、植物調節剤2回処理における本整形時(※)の花穂長と摘粒時期についての成果が得られたので報告する。

※本整形時…満開7日前頃(花穂の肩部の開花が始まる頃)に花穂の先端部を摘除する作業

### (2) 情報・成果の要約

- 1) 本整形時の花穂長は3～3.5cmが適正と考えられた。
- 2) 摘粒時期は満開10～20日後までが摘期である。摘粒時の果軸長は、満開10日後は7.8cm、満開15日後は8.6cm、満開20日後は9.7cmを目安に行うのが良い。

## 2 試験成果の概要

### (1) 本整形時の花穂長が満開時の花穂及び満開10日後の果房に及ぼす影響

本整形時に花穂長先端部の長さを3区(3、3.5、4cm)に分けて処理し、結実が確認できる満開10日後の果房を調査した。

鳥取県の‘シャインマスカット’の摘粒基準は1果房あたり30～40粒である。3cm区と3.5cm区は摘粒時に必要な粒数を十分に確保できた。4cm区は残った粒数が多く、果房上部支梗の除去等摘粒に要する労力が他区に比べ大きいとみられた。したがって、本整形時の花穂長は3～3.5cmにすることがよいと考えられた(表1、図1)。

表1 本整形時の花穂整形処理が、満開10日後の果房に及ぼす影響

処理区	果軸長 (cm/果房)	果粒数 (個/果房)	支梗数 (個/果房)
花穂長 3 cm	9.0	54.2	12.6
花穂長 3.5 cm	9.9	60.3	14.3
花穂長 4 cm	11.6	70.9	16.1

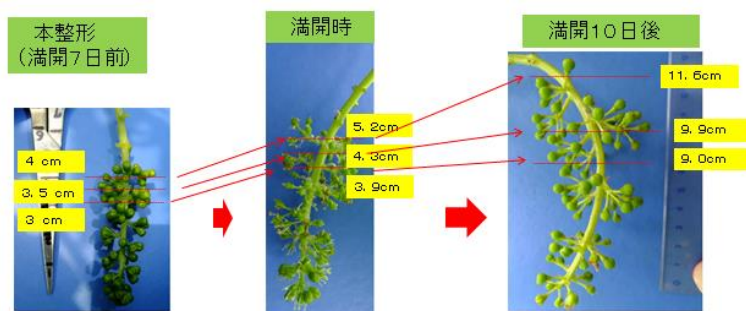


図1 本整形時の花穂長の推移

### (2) 摘粒時期の検討

1果房あたり30～40粒を基準として摘粒時期を満開10日後(早期区)、同15日後(中期区)、同20日後(遅期区)の三区に分け、摘粒時の果軸長と収穫時の果実品質について調査した。

収穫果の果実品質は、各項目とも大きな差はなく、摘粒は満開10～20日後までに行

うのが良いと判断した（表2）。







また、摘粒後の各区の果軸長は早期区（満開10日後）が7.8cm、中期区（満開15日後）が8.6cm、遅期区（満開20日後）が9.7cmであり、摘粒はこの長さを目安に行えばよいと考えられた。

表2 摘粒時期が果実品質に及ぼす影響

処理区	摘粒時期	果房重 (g/房)	果粒重 (g/粒)	果色 (c. c)	糖度 (Brix%)	酸含量 (%)	果皮 z 汚れ度
早期区	満開10日後	659.3	17.8	3.4	17.4	0.22	13.3
中期区	満開15日後	614.9	18.1	3.1	16.2	0.25	1.8
遅期区	満開20日後	593	16.5	3.3	17.0	0.25	15.6

z : 果皮汚れ度 = {  $\Sigma$  (発生指数 × 発生房数) / (調査房数 × 5) } × 100

表3 ‘シャインマスカット’の時期別摘粒判断基準

処理区	摘粒 (30~40粒/果房)		
	摘粒前	摘粒後	平均果軸長
早期摘粒 (満開10日後)			7.8 cm
慣行摘粒 (満開15日後)			8.6 cm
遅期摘粒 (満開20日後)			9.7 cm

### 3 利用上の留意点

なし

### 4 試験担当者

〔砂丘地農業研究センター 所長 西村光博〕